

会 議 録

会議の名称	平成30年度第5回天草市総合政策審議会
開催日時	平成31年1月15日(火) 13:30~16:45
開催場所	五和町コミュニティセンター 大ホール
議長名	玉村 雅敏
出席者氏名	玉村会長、井田副会長、中川委員、馬場委員、澤田委員、林委員、金子委員
欠席者氏名	福本委員、益崎委員、益田委員
会議次第	1 開 会 2 会長あいさつ 3 報 告 (1) 第4回天草市総合政策審議会の会議録について 4 議 題 (1) 天草市行政経営改革大綱(案)について (2) 第2次天草市総合計画後期基本計画(案)について 5 その他 6 閉 会

審 議 内 容

- 1 開会(事務局)
- 2 会長あいさつ
- 3 報告
 - (1) 第4回天草市総合政策審議会の会議録について
 - 事務局より報告。
- 4 議題
 - (1) 天草市行政経営改革大綱(案)について
 - 資料2 天草市行政経営改革大綱(案)、資料4 第2次天草市総合計画改定(案)に基づき、総務企画部門より説明。
 - (会長)

変更点を中心に説明していただいた。最終的な確認の段階である。これまでに審議し指摘したことなどとずれていないか。全体的に、その他、気になることはあるか。

私からは、前回に指摘したことの反映が不足している点として、31 ページ第4項「働き方改革の推進」について。働き方改革については「働きやすさ」と「働きがい」がテーマとなる。行政機関は模範を見せる立場であり、率先してやるべきことであるが、行政機関が自ら「働き方改革」を言い出すことは難しい領域でもある。限られた人数や勤務時間で成果を出すには、個々の職員の力が大切。行政に関わる人材がさらに活躍するためにも、審議会で検討して、大綱において明確に記載した方が良いのでは

と指摘をした。「働きやすさ」の観点の記載はある。もっと記載してあっても良い気もするが。「働きがい」については、指標は追加されているが、文章中に説明が書かれていないので記載をすべき。

(事務局)

おっしゃるとおり。前回審議会で「働きやすさ」とともに「働きがい」が重要になるという指摘を受け追記したが、内容の説明が不足していた。働きがいの項目を追加する。

(会長)

33 ページ第3項「電子自治体の推進」について、成果指標の見直しが必要ではないか。「住民システムの利用件数」は、利用実績が増えることで業務改善が図られているとも考えられるが、業務自体が改善され手続きが軽減されて実績が減ることも考えられる。この項目の位置づけから考えると、住民サービスの質が向上したかどうか確認できる象徴的な指標とすべき。例えば「窓口に行かずに、インターネットで完結する手続きの割合はどれくらいか」など。まだ実績を取っておらず、指標の現状値がなかったとしたら、来年度から取るのもあり得る。また「市が保有するデータを市民等が利活用しやすい形で公開する、オープンデータ化の推進」といった記載があるので、「どれだけ公開されているか」という指標があっても良い。成果指標は複数でも良い。

(事務局)

おっしゃるとおり。ICT を利用した行政システム数ではどうか。

(会長)

システムの数が多いから良いとは限らない。システムを統合して便利になったが、「システムの数」という指標としては下がる事も有り得る。数は解釈次第で変わる。成果指標としては難しいのでは。

(事務局)

インターネットで完結するシステムの割合が出せるかどうか、確認してみる。

(委員)

次回に改善して貰いたいのだが、アンケート調査の結果で目標達成を測るのであれば、年齢や性別の比率など統計学的にきちんとした調査が必要。窓口アンケート調査など、窓口に来た人しかアンケートに答えていない。

アンケート調査のプレ調査も必要である。

(委員)

アンケートは聞き方次第で変わってくる。設問で選択肢の数が異なっている。選択肢の数や「わからない」という回答の有無など、統一が必要ではないか。

(事務局)

市政アンケートについては、前期基本計画を策定する際にアンケートを最初に取り替えたもので、その時のものを大幅に変えると結果が変りすぎるという事で変更できなかった。

以前は「どちらでもない」という選択肢を明確にするために削除して見直しは図った。次回の指標としては見直しを図る必要がある。

市政アンケートについては、地域や年齢層の比率に応じて抽出するが、窓口アンケートについては、今回から新たに検討して実施したもの。

(委員)

年齢層でのクロス集計が必要。年齢層によって時間コストが異なる。長く待てるかどうかが変わる。

(会長)

調査には何らかのバイアスがある可能性がある。そのことを意識して、毎回、検証もしながら進めることは必要。例えば、回答に協力的な人のみや、時間が有る人だけからの回答になっていると、偏った結果になっている可能性がある。回答が無かった人にはどういった傾向があるのかなど、併せて検討することが必要。

また、年齢などの属性とのクロス集計や、他の設問への回答とのクロス集計などから示唆を得ることも大切な観点。

(事務局)

今回初めて窓口アンケートを実施した。今後は審議会の意見を反映したアンケート調査を検討したい。

(2) 第2次天草市総合計画後期基本計画(案)について

資料4 第2次天草市総合計画改定(案)に基づき、全体に係る変更点について総務企画部門より説明。

【産業経済部門】

資料4 第2次天草市総合計画改定(案)に基づき、変更点について部門長より説明。

(委員)

35 ページの森林環境贈与税とは。また、規模は。

(事務局)

天草市は3,000万円交付の予定。平成45年からは1億円交付される予定。用途は、木材の利用促進や担い手育成を目的としてある。

(委員)

37 ページの水産業の振興について、大きな改革が行われ、漁協だけでなく民間でも実施できるようになったが、市としての対応を検討すべき。天草市では養殖業が多く力を入れる必要があるが、観光振興で伊勢海老やウニを扱っているが、お客さんが増えているが食材が足りない。養殖の技術は難しいが、新たな技術に漁業者と一緒に取り組むなど将来を見据えた施策が必要と考える。

(事務局)

水産改革法については、民間の増加が予想されるが、空きスペースがあれば使ってもらいたい。漁協の権限はそんなに変わらないと思う。いずれにしても県の判断で

市では難しいが、県と一緒にやっていきたい。

伊勢海老やウニはなかなか増やせないが、伊勢海老を対象とした漁礁を入れて、資源を増やしていく取り組みをおこなっているが、特化した事業はない。今後も今の事業を踏まえて取り組んでいく。

(委員)

新たなチャレンジへの支援が、新規事業の育成に繋がる。空きスペースといわれるが、熊本県は取組みが遅れている。鹿児島県などは進んでいるので、勉強して県への働きかけが必要。

(委員)

43 ページは、物流の話であり、天草市版の地域産業連関表を作成し、市内外への移出・移入を捉える必要がある。

また、42 ページの成果指標は、施策計画を直接的に測るものでなければいけない。6次産業化に参加した農家の所得向上や、雇用者数が成果指標と考えられる。

(事務局)

市内に働ける場所があるかどうかのアンケートは、市政アンケートの結果。

地域産業連関表は作成しており、市外からの移入を市内に代えたらどうなるかという試算もしている。

施策計画に対応した成果指標については、新商品を多くつくことで雇用も所得も向上しているため、指標は商品数としている。

(会長)

今日は、最終的な確認の機会なので、すべての部門に聞くことであるが、後期基本計画は、基本計画の計画期間が終わるときに、総合計画全体の期間が終わる。基本構想で掲げている環境指標の目標を、この期間に達成する必要があるが、達成できると考えて、今回の後期基本計画案は検討されたものであるか。達成ができる前提で検討をしたうえで、もしできない可能性がある場合の検討も必要であるがどうであったのか。

(事務局)

環境指標の2と3は、難しいところもある。特に環境指標3は、50歳代以下の若い年代で低い。徹底的に地産地消に取り組むことで目標値に近づきたい。

(会長)

難しさが見えていることは、専門部会内のみで検討や推進をするのではなく、どうしたらできるのか、他の専門部会との協力が必要。広く呼び掛けて取り組んでほしい。

【観光・文化部門】

資料4第2次天草市総合計画改定(案)に基づき、変更点について部門長より説明。

(委員)

44 ページの観光客宿泊数は、宿泊観光客数が正しい表現。また、人数は、延べ人数なのか実数なのか明確にすること。

外国人が訪れるような施設については、ワールドワイドなロゴを付けると分かる。観光文化にSDGsを加えてはどうか。

(会長)

指標は見直しをお願いする。

SDGsについても以前検討をお願いしているがどうなっているのか。少なくとも、後期計画期間中に進めることを掲載することは必要。

すべての部門に共通で確認をすることだが、後期基本計画中に環境指標と成果指標の達成はできるのか。その際に課題はないか。

(事務局)

世界遺産の受入れを行っていく中で、関係機関と連携を図り伸びてきた。この取り組みを継続することで達成できると考える。

(委員)

45ページの市民ができることとして、「自分の住む地域をきれいにします」を加えて欲しい。また、「地域の行事に積極的に参加します」も加えてはどうか。

(事務局)

市民の意識向上には必要と考える。まちづくりと協議したい。政策11「協働によるまちづくりの推進」でも記載されている。

【地域振興部門】

資料4第2次天草市総合計画改定(案)に基づき、変更点について部門長より説明。

(会長)

すべての部門に共通で確認をすることだが、後期基本計画で総合計画が終了するが、環境指標及び成果指標の達成は可能か。

(事務局)

可能と考える。アンケートは、高齢者の方が多数を占めているが、若者も対象として取り組む。また、移住者も年間100人を目指し取り組む。

(会長)

達成できるか検証しながら進めて欲しい。

(委員)

59ページの施策計画Ⅲ交通不便地域対策の推進は、バスの路線の廃止に伴い不便地域が増えるので、前倒しした取り組みが必要。

(事務局)

天草地域公共交通網計画を策定し、路線バスの見直しを進めている。本渡地域では、路線バスに代わってデマンドタクシーの導入を進めている。平成31年度から3路線導入する。路線バスの見直しに伴う不便地域を生まないよう、できるだけ早く取り組む。

【教育部門】

資料4 第2次天草市総合計画改定(案)に基づき、変更点について部門長より説明。
(会長)

すべての部門に共通で確認をすることだが、後期基本計画で総合計画が終了するが、環境指標及び成果指標の達成は可能か。

(事務局)

環境指標は新たに設定したものもあるが、今後の取り組みで達成できると考える。
成果指標、概ね上昇傾向にあるが、成果指標で目標と離れているものがあり、今後事業を進めていく中で目標達成に向けて更に取り組みたい。

(会長)

後期基本計画では部門間の連携も意識して欲しい。

(委員)

政策18 学校教育の充実について、英語教育やICT 環境整備を進めるためには、先生への教育も必要。

(事務局)

リスニング力が不足しており、先生への研修の機会を設けて取り組む。ICT の環境整備についても機器の整備に合わせて取り組む。

【保健・医療・福祉部門】

資料4 第2次天草市総合計画改定(案)に基づき、変更点について部門長より説明。
(会長)

すべての部門に共通で確認をすることだが、後期基本計画で総合計画が終了するが、目標の達成は可能か。

(事務局)

部門全体では、環境指標「障がい者の社会参画ができていること」については、達成には非常に努力が必要。

(事務局)

「障がい者が地域社会で生き生きと生活していると感じる市民の割合」は、難しいと感じているが、これまで、障がい者への取組みが多かったが、障がい者の周囲の方、団体への取組みもやっていきたい。

(会長)

地域で接している方、接点がない方に接する機会を提供するなど必要。

(委員)

71 ページの市民ができていないことで、ジェネリック医薬品を利用しますとあるが、医師が言わないと市民はできない。市民ができることに記載するのは酷なことではないか。

ジェネリック医薬品に対する市民の認識がないので、処方する側の取り組みが必要。

(事務局)

新規国保の加入者にはジェネリック医薬品について周知している。医師の理解も必要だが、国の目標が80%に対して本市は74%であり、医師の理解もいただいていると思う。

(委員)

障がい者の社会参加の促進について、障がい者の雇用でどれだけ売り上げがあったか把握しているか。雇用・仕事が増えてきたという指標で、社会参加を測ることができるのではないか。民間も協力をしていかなければならない。

(事務局)

全体的な数値は、把握していると思うので、指標について調査したい。民間企業にも協力をお願いしたい。

(委員)

77ページの市民ができることの中に、「障がい者が地域に」とあるが、障がい者だけでなく、その家族も地域の行事に積極的に参加することも大切であるため、「その家族」を加えられないか。

【生活環境・防犯防災部門】

資料4第2次天草市総合計画改定(案)に基づき、変更点について部門長より説明。

(会長)

すべての部門に共通で確認をすることだが、後期基本計画で総合計画が終了するが、目標の達成は可能か。

(事務局)

環境指標・成果指標とも前期設定目標値を上回っているので、達成できる見込み。ゴミの総排出量も人口減少も勘案して目標値を設定しているので、達成に向けて努力したい。

(委員)

ゴミの総排出量とは家庭からの一般廃棄物で良いか。

(事務局)

家庭と事業所の一般廃棄物を合わせたもの。

(委員)

自治体版の地球温暖化防止対策実行計画は策定しているか。

太陽光だけでなくLEDへ変更するなど、身近な地球温暖化対策が可能。また、資源化しただけでは循環型にならない。資源化した商品の購入も循環型社会の実現には必要。文言が不足している。

高校生が消費者トラブルに巻き込まれる可能性もあり、小学生高学年から高校生までに消費生活に関する教育も必要ではないか。

(事務局)

地球温暖化防止対策実行計画については、第2次天草市環境基本計画と合わせて策定することとし、事務事業編と区域施策編をまとめた計画となる。

(事務局)

消費者トラブルについては、学校から消費生活に関する講義の要請があり、実施している。具体的に加筆するか検討する。

(事務局)

循環型社会の実現については、検討したい。

(委員)

市民ができることをもっと具体的に。温室効果ガスについて、天草は車中心の社会で難しいかもしれないが、ノーマーカーデーを追加してはどうか。

災害時の支援体制について、FM ラジオの活用の記載をしてほしい。

(事務局)

市民ができることについて、市ではノーマーカーデーをしているが、市民でも同様の活動ができるか検討したい。

(事務局)

市民ができることについて、戸別受信機の活用について記載しているが、ラジオの活用についても検討したい。

(委員)

数値が天草の中で完結しているので、良し悪しが分からない。県や全国との比較対象があると分かりやすい。

(事務局)

全体的なところで、比較できる数値がないか検討し、ある指標については、参考資料として掲載を考えたい。

(会長)

わかりにくいものは、参考とする分野別計画などをみてもらうことも必要。

【都市基盤整備部門】

資料4 第2次天草市総合計画改定(案)に基づき、変更点について部門長より説明。

(会長)

すべての部門に共通で確認をすることだが、後期基本計画で総合計画が終了するが、目標の達成は可能か。

(事務局)

環境指標 19 は順調であるが、環境指標 17 及び環境指標 18 は困難な状況。

(会長)

道路や公園といったハードが完成すれば目標が達成できる部分があるかもしれないが、それだけで目標が達成できるのか？

以前にも同じ指摘をしたが、他の部会と同様に、まず、課題を設定するために、地

域性や年齢層など、様々な分析して、仮説を持って課題設定をして、さらに、その課題を解決することに取り組んでほしい。

以前も同様の指摘をおこなっているが、ハード整備がないと、実現できないという説明では無理がある。

同じことを第3回の審議会でも指摘しているが、今日の内容は、これまでの指摘が反映されておらず、審議会は軽視されていると認識している。議事録の確認をして修正が必要。

(委員)

93 ページの成果資料「有収率」には補足をつけるべき。

景観計画の景観形成区域においては、ソーラーを設置、しかも農振地域に設置可能か。

(事務局)

景観形成区域内におけるソーラーの設置については、景観形成を変更し、届け出を義務化した。

(事務局)

環境が重要視され、設置できるようになっている。

(事務局)

「有収率」については、注釈をつけたい。

(委員)

達成が難しい数値がある。目標を下げることも必要。下方修正を検討してはどうか。

新たな下水や道路のインフラ整備にはお金も時間もかかる。既存のインフラが整備されている中に居住してもらうという発想も将来は必要。これは別の議論ではあるが。

(会長)

根拠をつけて下方修正するのか。できないから下げるという発想を許容するのではなく、何らかの根拠に基づいた説明が必要。企画部門との調整はあったのか。

(事務局)

企画と調整もしたが、無理な部分もある。下方修正も含めて再度検討したい。

(会長)

それは今日の審議会に向けて検討が必要であったこと。このままでは答申を見送ることになる。

(事務局)

環境指標 17 については、支所機能の充実により各地域の整備を行う事で指標を達成できないか。環境指標 18 については第二瀬戸橋の整備で大きく数値が上がると考える。前期の目標値を後期の目標値へ置き換えたい。

(会長)

支所機能の充実について、検討してきたのであれば、計画案に反映して、今日提示されるべきことであった。前期の目標値を後期の目標値に設定するという案を提示す

るのであれば、その根拠が必要で、少なくとも、前期開始時点で設定した目標の設定根拠を説明した上での検討が必要。現状の資料では、今日は判断できないので、資料で整理して示したものをもとに、検討することが必要。

(事務局)

環境指標 18 について 2020 年に向けて幹線道路の整備を進めているので、この完成により指標が上昇すると思われ、達成できるものと考えている。

(会長)

環境指標 17 は、改めて作成された資料を基に 2022 年度目標値をどうするかを検討したい。

(会長)

総務企画部門については、議題 1 天草市行政経営改革大綱（案）と合わせて審議を行ったので、本日の審議はこれで終了とする。

本日のご意見の反映等については、何かあればさらに指摘をして頂くとして、最終的には、事務局と会長で確認したのちに答申するという進め方でご了承を頂きたいがかまわないか。

(委員)

了承した。

以上